



折り紙を学びました

5月31日(木)の3・4時間目に、保育科1年生が「折り紙と日本文化」というテーマで外部講師の先生のご指導を受けました。講師は、本校で30年に渡って折り紙を教えていただいている金杉登喜子先生です。紙には縦と横があるということから始まり、たくさんの折り方と様々なところで折り紙を伝えていらっしゃる先生のお話や日本文化としての折り紙の重要性を教えてくださいました。



真剣な表情で折り紙に取り組みました

「くちびる」が完成しました



先生を囲んで全員で記念写真

<生徒の感想>

- 金杉先生にはたくさんの折り方を教わり、折り紙は世界共通のものだということを知り、奥深いと思いました。この授業をこれからの保育の学習に活かしたいです。
- 私は今まで少しのパターンの折り紙しかできませんでした。しかし、今日の金杉先生の授業で折れるものが増えました。つまづいたら教えていただき、また自分で折ってみるといってもよい経験をさせていただきました。
- 今回、金杉先生の授業を受けて、日本の文化である折り紙は素晴らしいものだと思います。海外に行っても言葉が伝わらなくても折り紙があればコミュニケーションがとれることを教えてくださいました。
- 私は、折り紙はこんなに楽しいものだと知りませんでした。分からないところや完成したものを見せ合ったりして、会話をたくさんすることができるすごいものだと分かりました。
- 今回教えていただいた折り紙は、ただ折って形を作るだけでなく動かして遊べるものがたくさんあり、これからの保育実習や就職先で必ず役に立つと思いました。ありがとうございました。
- 私は手先が器用なわけではなく、折り紙も鶴しか折れませんでした。しかし、今回学んだことによりレポートリも増えて、人に教えられるくらいになるまであと一歩になりました。折り紙を教えられるようになりたいです。

今回学んだ折り紙を、子どもたちとの関わりに活かしたいですね。